2027年3月期

第2四半期 決算説明資料

2026年11月13日



株式会社イワキ
証券コード：6237
銘柄名：イワキポンプ

目次

Ⅰ. 2027年3月期 第2四半期 決算概要 P.3

Ⅱ. 2027年3月期 業績見通し P.14

Ⅲ. Appendix P.21

用語説明

会計 四半期（3ヵ月間）会計期間のこと。

累計 累計期間のこと。（1Q～2Q）

Ⅰ. 2027年3月期 第2四半期 決算概要

2027年3月期 2Q 決算サマリー

1Qに引き続き、国内の医療機器市場、米国の水処理市場が好調を維持したほか、
中国・韓国・台湾の半導体・液晶市場も伸長。
円安による為替換算の影響もあり、連結売上高は前年同期比＋18.5%となった。

		2026.3期 2Q	2027.3期2Q		
		金額(百万円)	金額(百万円)	差額	増減率(前年同期比)
売上高		22,693	**26,893**	4,199	+18.5%
売上総利益 (売上総利益率)		9,111 (40.1%)	**11,454 (42.6%)**	2,343	+25.7%
営業利益 (営業利益率)		2,726 (12.0%)	**3,990 (14.8%)**	1,264	+46.4%
経常利益		3,231	**4,577**	1,346	+41.7%
親会社株主に帰属する中間純利益		2,299	**3,392**	1,092	+47.5%
1株当たり中間純利益		103.82円	**152.85円**	49.04円	+47.2%
為替レート (期中平均)	ドル	148.41円		158.29円	
	ユーロ	162.25円		184.55円	
	中国人民元	20.44円		23.07円	

2027年3月期 2Q 決算のポイント

1 売上高：前年同期比+18.5%と好調に推移。

- 国内の医療機器市場は前年同期比＋46.5%、米国の水処理市場は前年同期比＋11.4%、
  中国の半導体・液晶市場は前年同期比＋29.8%と好調に推移。
- 地域別では、国内・海外ともに好調。アジア地域は、韓国・台湾の半導体・液晶市場が牽引。

2 営業利益：増収効果等により、上場来最高となった。

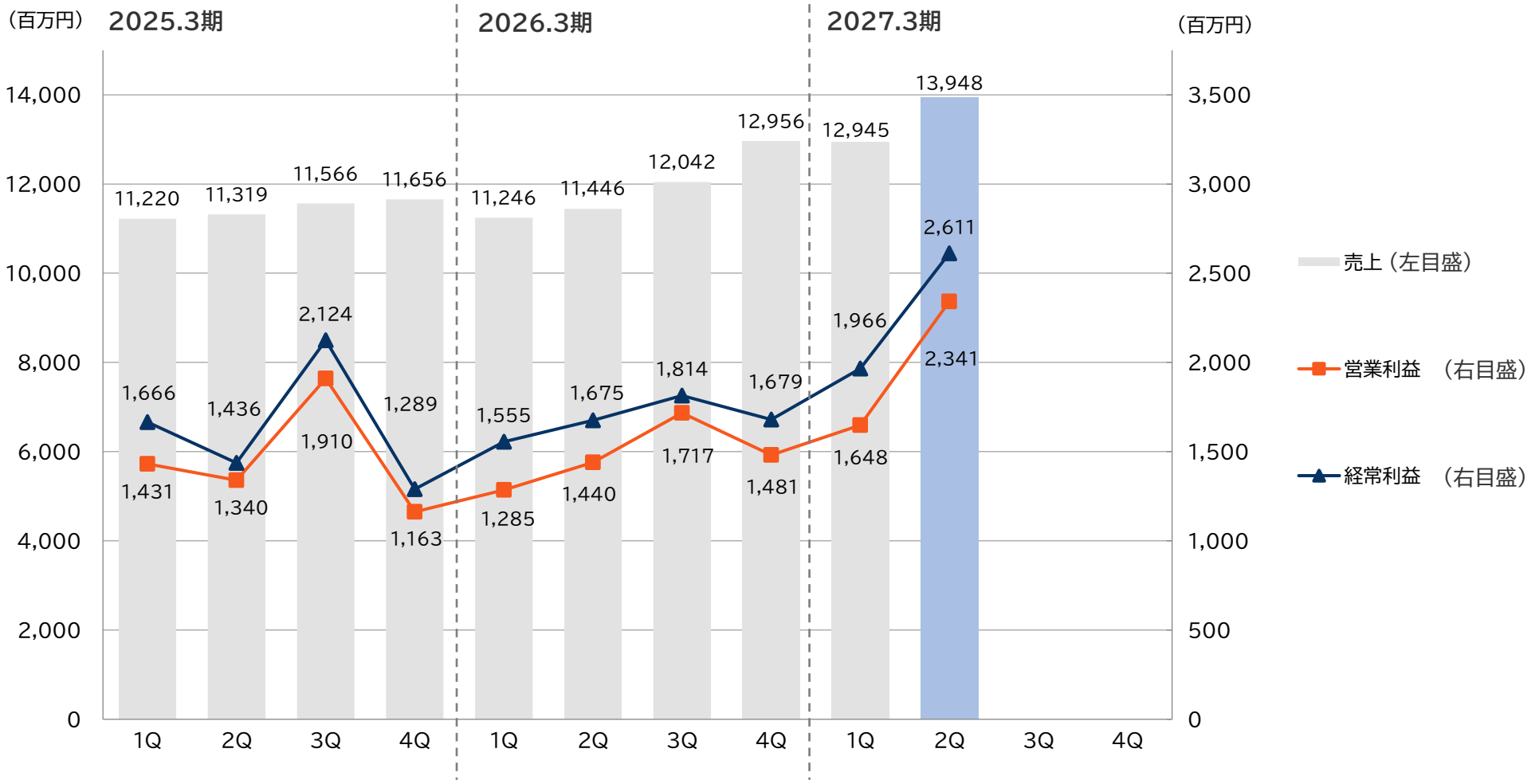
- 売上高の伸長に伴い在庫適正化が進み、売上原価率は前年同期比▲2.4%となった。
- 販管費は前年同期比＋1,079百万円であったものの、
  販管費率は微減となり、営業利益率は14.8%と上場来最高となった。

3 親会社株主に帰属する中間純利益：持分法による投資利益の影響もあり、大幅増益。

- 営業利益の大幅な伸長に加え、半導体・液晶市場が好調な韓国・台湾の
  持分法による投資利益の増加等により経常利益以下各段階利益も押し上げられ、
  親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比＋47.5%と大幅な増益となった。

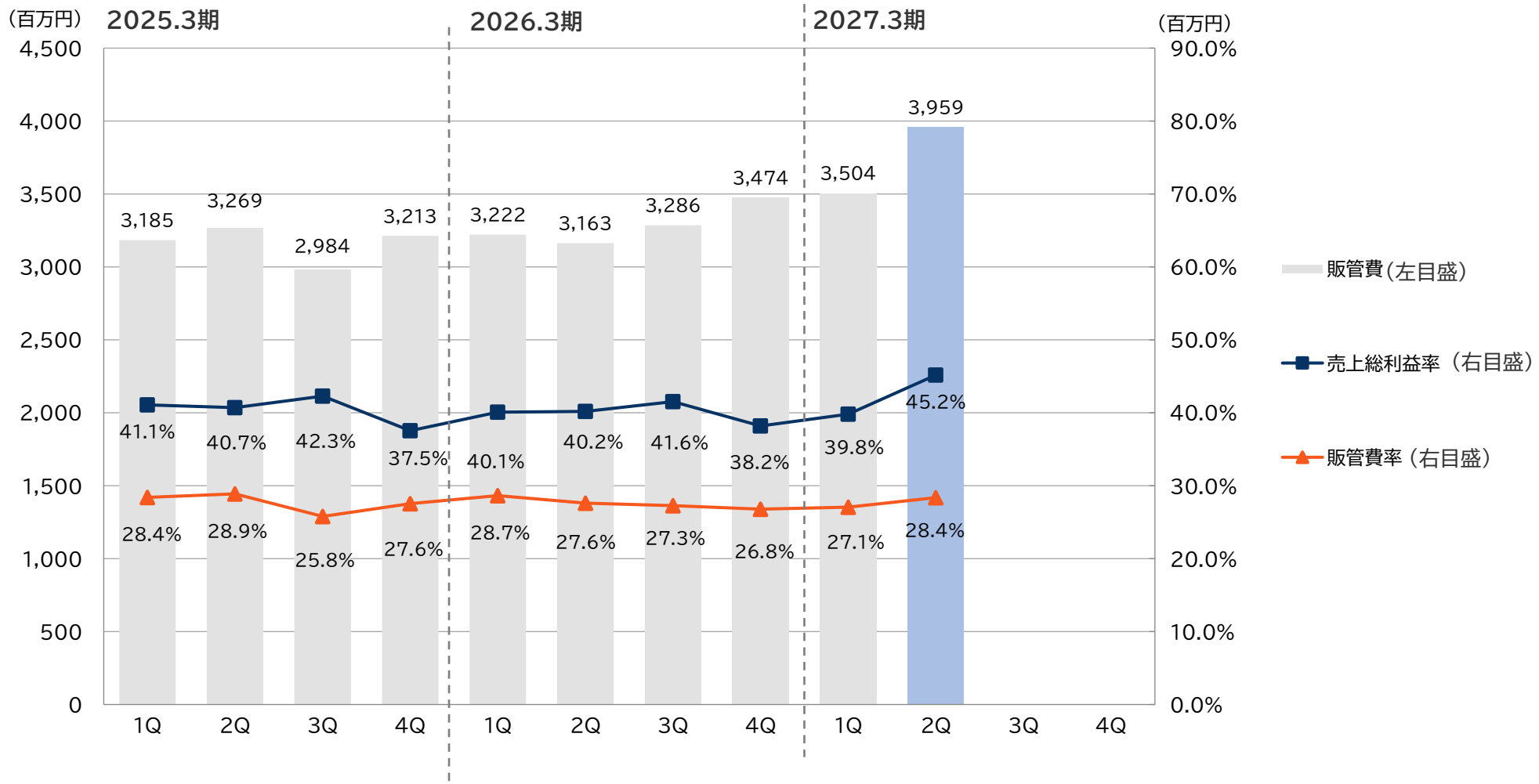
売上高・営業利益の推移（四半期ベース）

四半期ベースの売上高は、国内の医療機器市場、米国の水処理市場等が好調に推移したことにより、過去最高を記録。営業利益以下各段階利益も大幅増益となった。



売上総利益率・販管費(率)の推移(四半期ベース)

売上高の伸長に伴い在庫適正化が進み、売上原価率の低下によって売上総利益率は大きく上昇した。
人件費、研究開発費等が前年同期比で増加したものの、四半期ベースの販管費率は微増に留まった。

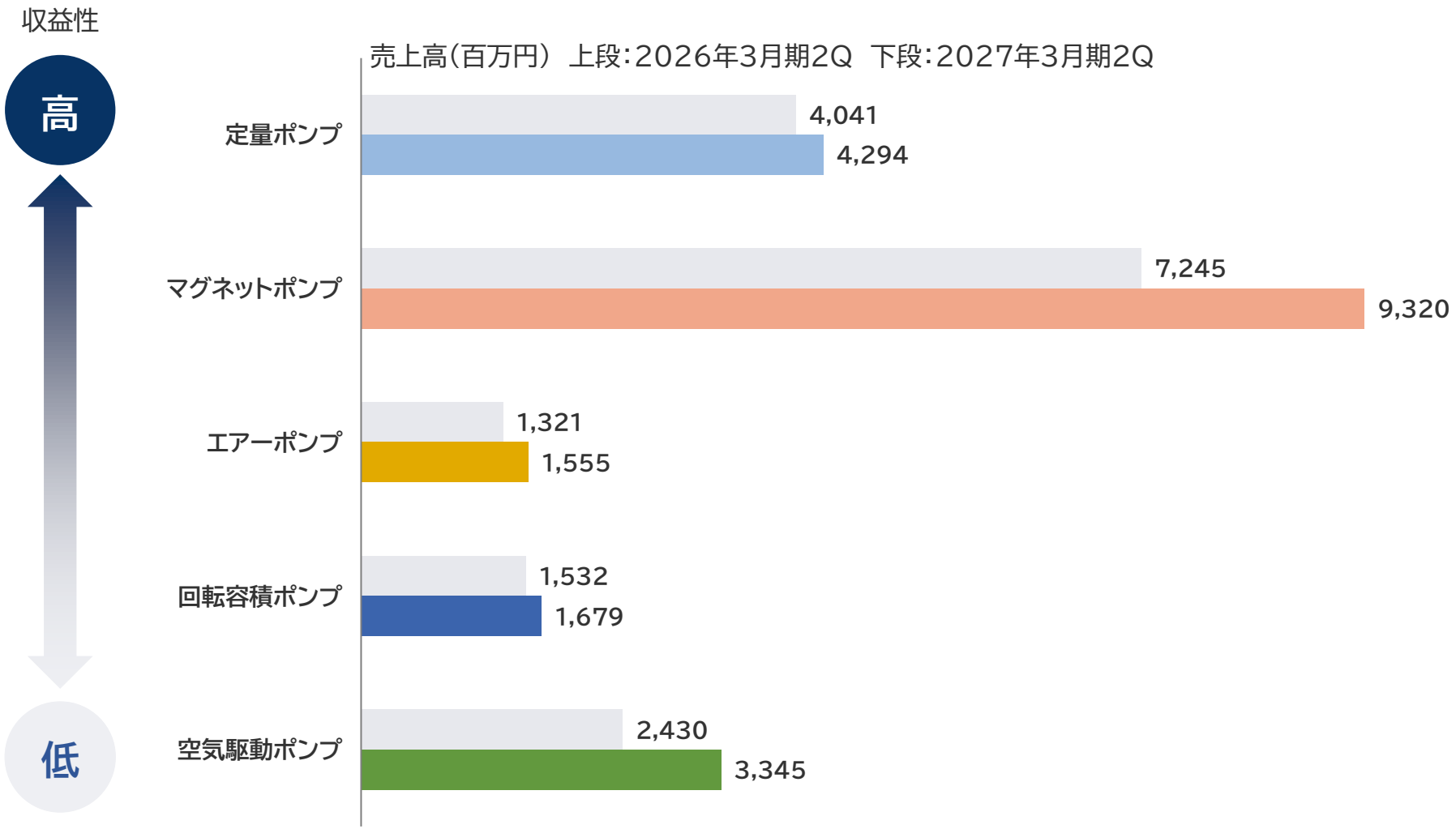


製品別 販売市場について

マルチ市場への販売	主なポンプ用途	マグネットポンプ	定量ポンプ	空気駆動ポンプ	回転容積ポンプ	エアーポンプ	システム製品
半導体・液晶市場	半導体製造装置 他	●	○	●			○
医療機器市場	人工透析装置 臨床分析装置 他	●	○		●	●	○
表面処理装置市場	プリント基板製造装置 電子部品製造 他	●	○				○
化学市場	化学薬液製造 他	●	○		○		○
水処理市場	浄水場 排水処理場 クーリングタワー 他	○	●		○	○	○
新エネルギー市場	再生可能エネルギー 二次電池製造 他	○	○		●		○
その他（食品・製紙等）	食品洗浄 各種冷却用途 他	○	○		●	○	○

※ 塗りつぶし：各市場におけるメインポンプ

製品別 収益性について

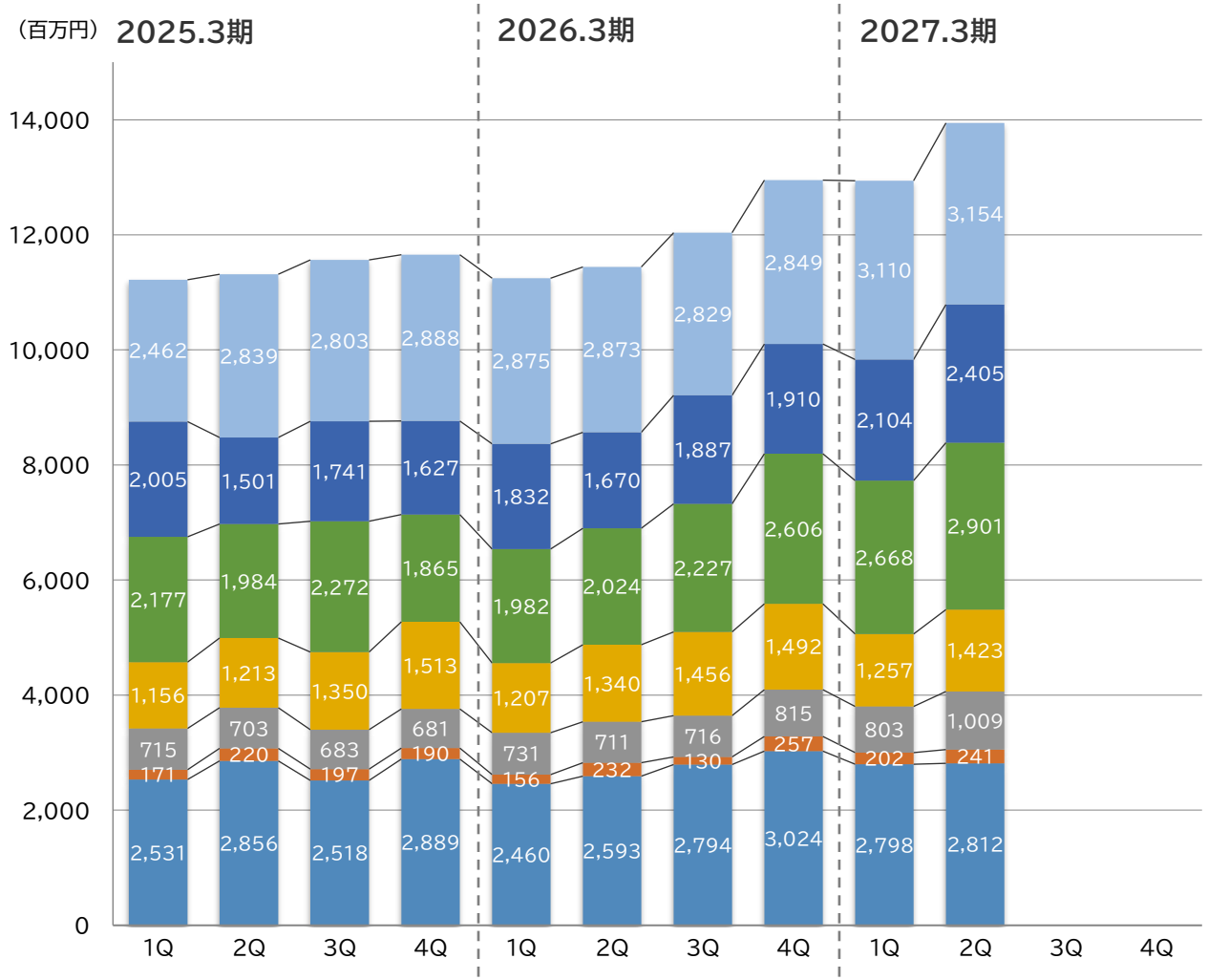


※システム製品、仕入商品、その他除く

市場別売上高

会計 表面処理装置市場は、半導体・液晶市場の好調な需要動向を受け、直前四半期比で増加した。

累計 医療機器市場は国内を中心に、半導体・液晶市場はアジアを中心に好調に推移した。

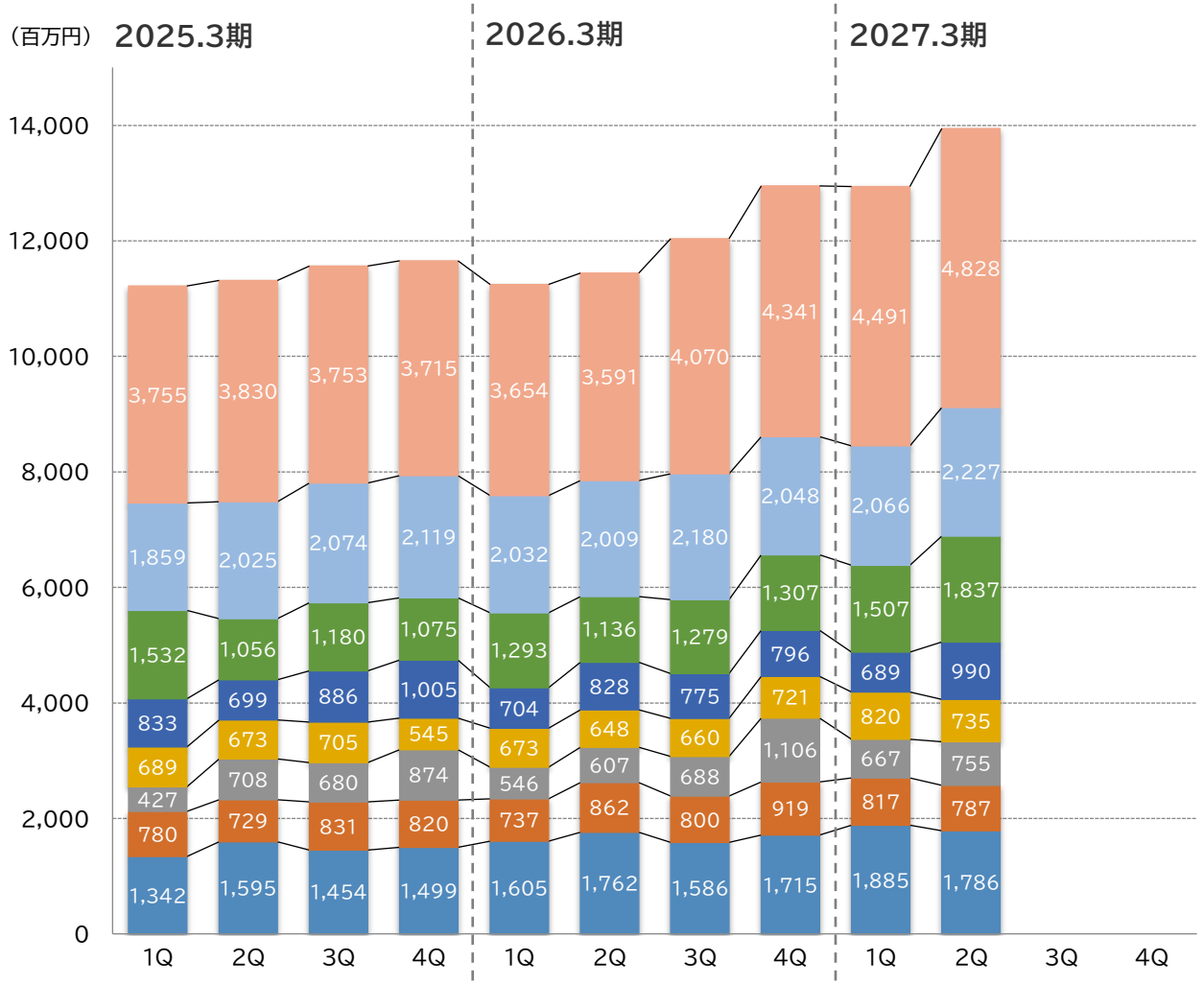


	2027.3期 2Q金額（百万円）	対前年同期 増減額（百万円）	対前年同期 増減率（%）
水処理	6,264	514	+9.0%
半導体・液晶	4,509	1,007	+28.8%
医療機器	5,569	1,562	+39.0%
化学	2,680	132	+5.2%
表面処理装置	1,813	370	+25.7%
新エネルギー	443	53	+13.8%
その他	5,611	558	+11.0%

製品別売上高

会計 回転容積ポンプは医療機器市場、空気駆動ポンプは半導体・液晶市場の好調を受け、直前四半期比増。

累計 会計期間と同様の傾向により、マグネットポンプや回転容積ポンプ、空気駆動ポンプが前年同期比増。

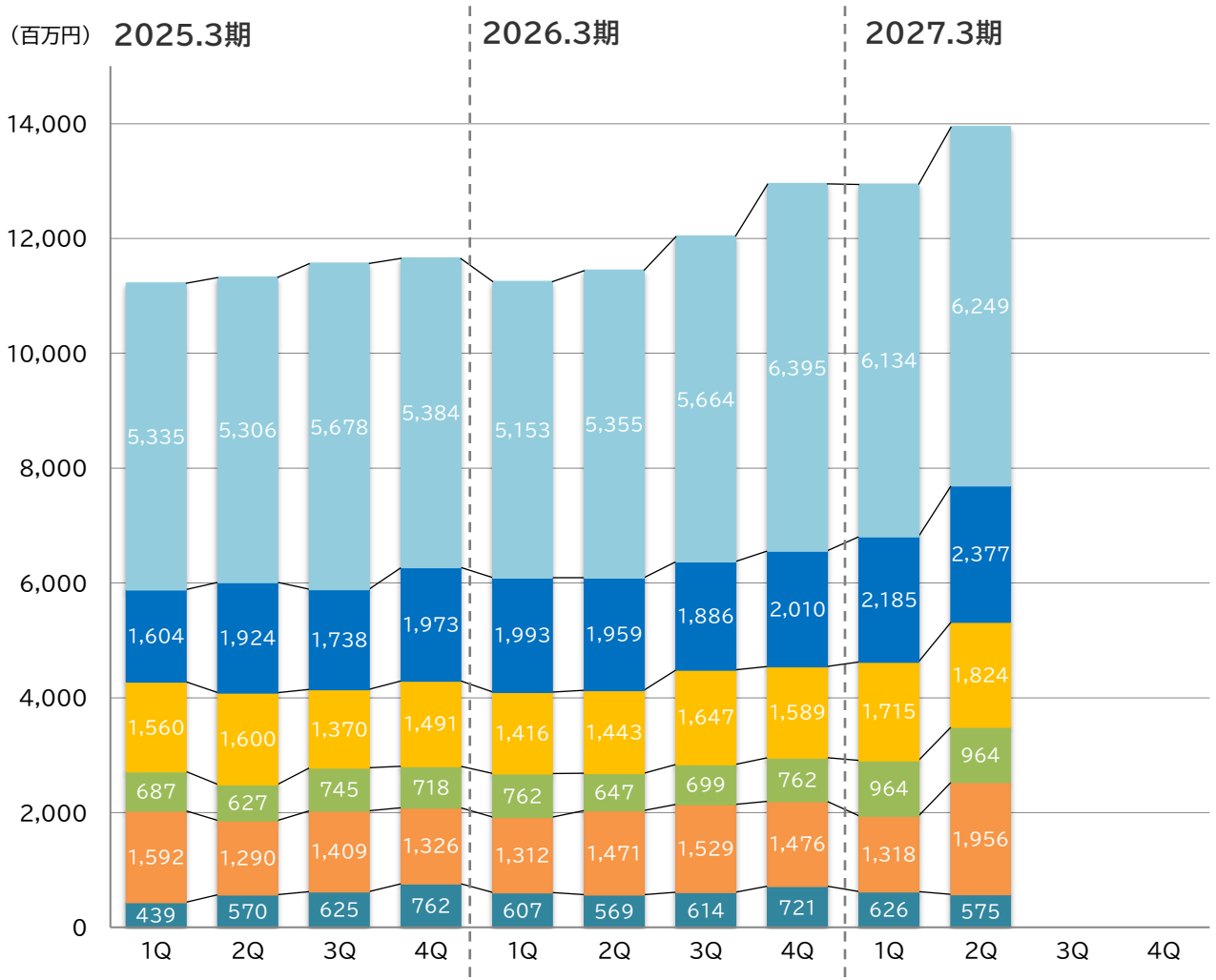


	2027.3期 2Q金額（百万円）	対前年同期 増減額（百万円）	対前年同期 増減率（%）
マグネットポンプ	9,320	2,074	+28.6%
定量ポンプ	4,294	252	+6.2%
空気駆動ポンプ	3,345	915	+37.7%
回転容積ポンプ	1,679	146	+9.6%
エアーポンプ	1,555	234	+17.7%
システム製品	1,422	268	+23.3%
仕入商品	1,604	3	+0.2%
その他	3,671	303	+9.0%

地域別売上高

会計 国内は医療機器市場、中国は半導体・液晶市場を中心に好調に推移した。

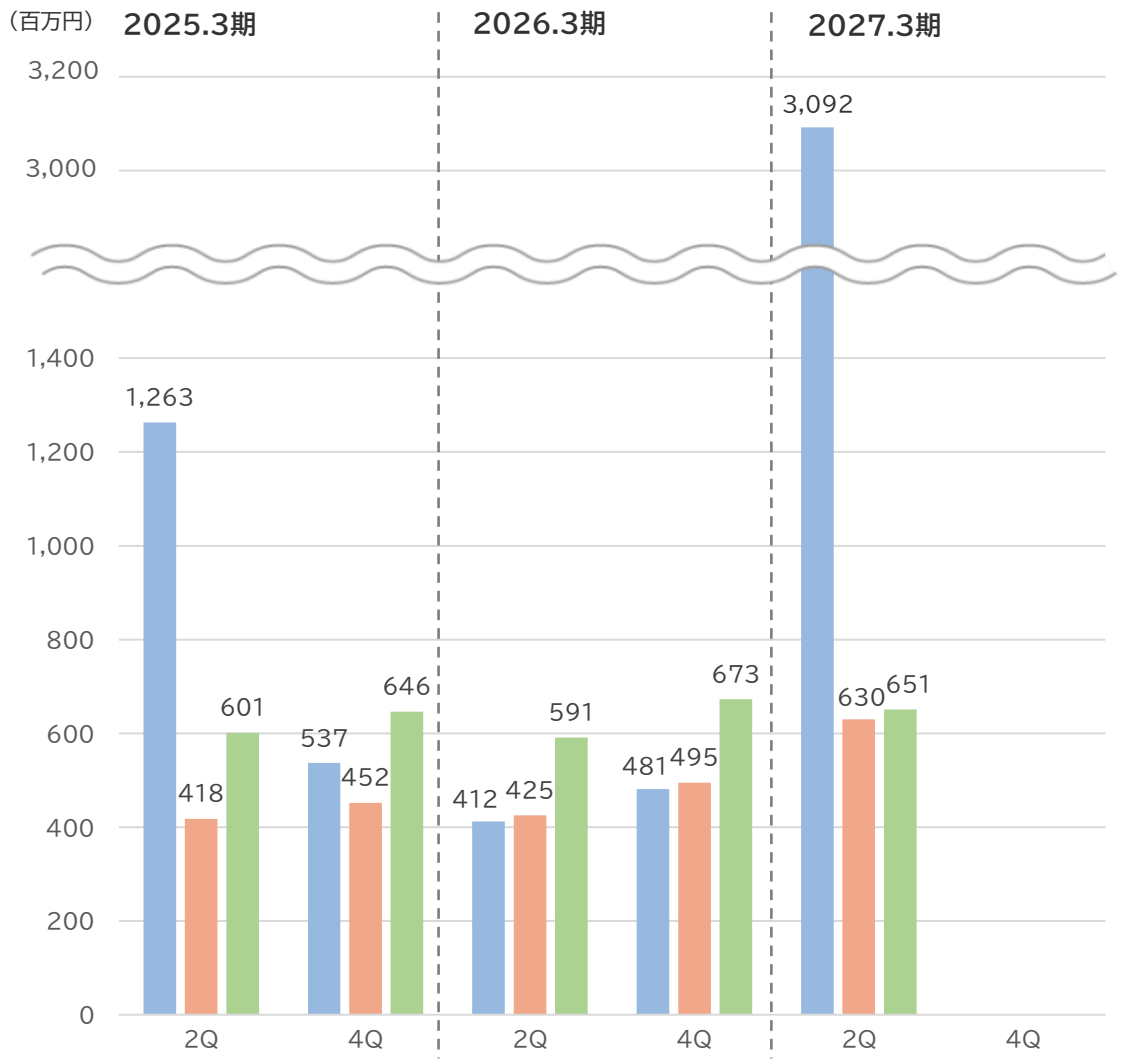
累計 半導体・液晶市場の好調を受け、アジア（韓国・台湾）、中国が前年同期比増。



日本
米国
欧州
アジア
中国
その他

	2027.3期 2Q金額（百万円）	対前年同期 増減額（百万円）	対前年同期 増減率（%）
日本	12,384	1,875	+17.8%
米国	4,562	609	+15.4%
欧州	3,540	680	+23.8%
アジア	1,928	519	+36.8%
中国	3,275	490	+17.6%
その他	1,202	24	+2.1%
海外合計（海外売上比率）	14,509（54.0%）	2,324	+19.1%

設備投資・研究開発費・減価償却費推移（半期毎）



	2027.3月期 2Q累計金額（百万円）	対前年同期増減額（百万円）
設備投資	3,092	+2,679
研究開発費	630	+205
減価償却費	651	+59

※2025.3期2Q設備投資額の大幅増は、主にイワキアメリカの建物賃貸借契約更新によるものです。
※2027.3期2Q設備投資額の大幅増は、主に三春工場新棟建設によるものです。

Ⅱ. 2027年3月期 業績見通し

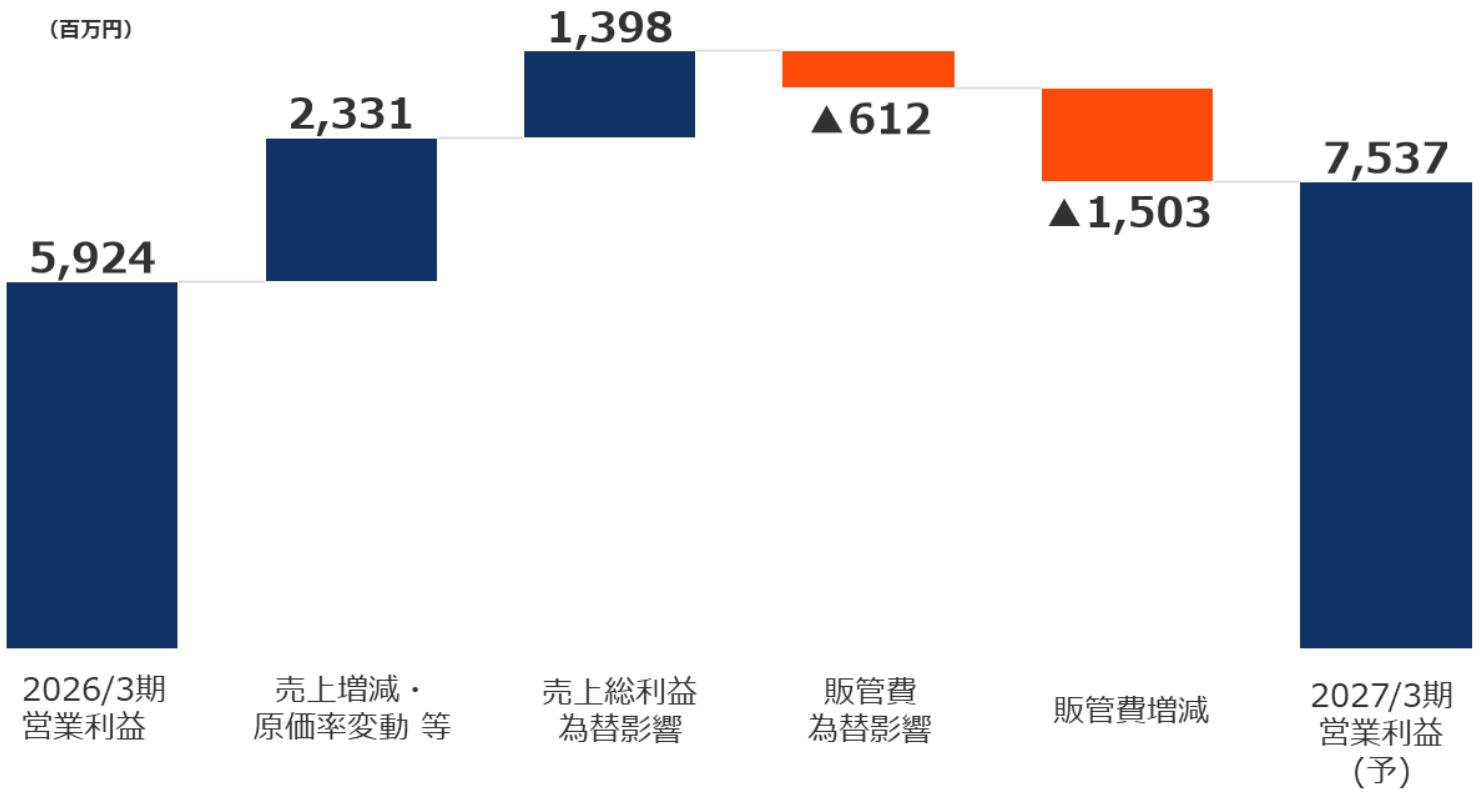
2027年3月期 業績予想

上期実績に加え下期も半導体・液晶市場、医療機器市場、表面処理装置市場の好調な伸びを想定し、増収予想。
増収に伴い、営業利益率も改善する見込み。中期経営計画2027の財務目標は1年前倒しで概ね達成の見込み。

		2026.3期	2027.3期			※当初予想 2027.3期
		金額(百万円)	金額(百万円)	差額	増減率(前年同期比)	金額(百万円)
売上高		47,692	**54,175**	6,483	+13.6%	50,959
売上総利益 (売上総利益率)		19,070 (40.0%)	**22,800 (42.1%)**	3,729	+19.6%	21,167 (41.5%)
営業利益 (営業利益率)		5,924 (12.4%)	**7,537 (13.9%)**	1,613	+27.2%	6,428 (12.6%)
経常利益		6,724	**8,655**	1,930	+28.7%	6,986
親会社株主に帰属する当期純利益		4,835	**6,437**	1,602	+33.1%	5,149
1株当たり当期純利益		218.14円	**289.57円**	71.43円	+32.7%	231.94円
自己資本当期純利益率(ROE)		12.2%	**14.7%**	―	(+2.5pt)	12.0%
為替レート(期中平均)	ドル	149.62円	157.00円			151.00円
	ユーロ	169.19円	181.00円			177.00円
	中国人民元	20.81円	23.30円			21.30円

2027年3月期 業績予想 増減益分析

下期： 為替1円当たりの感応度	USドル	ユーロ	中国人民元
売上	39百万円	18百万円	174百万円
営業利益	8百万円	5百万円	106百万円



2027年3月期 市場環境の想定

重要テーマ

各市場	国内	海外
水処理市場	・民需は一般産業廃水が好調を継続。 ・官需は更新需要中心となり、市場環境は停滞。	・クーリングタワー、プール・スパ向け需要が堅調。 ・一般産業向けでの設備投資が堅調。
新エネルギー市場	・バッテリーはEV鈍化に伴い、関連市場への投資も鈍化。 ・系統用蓄電関連の投資が活発で今後期待される。 ・水素/カーボンニュートラル関連は大型投資撤退も目立つが、開発需要は堅調。 ・家庭用燃料電池は、見通しは低調。	・欧州、中国でEV車の販売が回復基調であるが、EV用バッテリー設備投資は低調な状況で需要減速。 ・水素/CO2回収の投資は、中国では拡大するも、欧米では成長鈍化。 ・世界各国で系統蓄電関連への投資が活発化。
医療機器市場	・地政学リスクの影響が継続しており、先行き不透明感が定着してきている反面、欧州・北米需要が緩やかな上昇基調にある。	・装置メーカー各社における在庫過多状態が解消しつつあり、一部で需要回復の動きが見られる。一方で、回復のペースにはメーカーや地域による差があり、全体としては緩やかな回復基調が続いている。 ・物流の混乱は徐々に沈静化の兆しを見せているものの、世界経済の先行きには不透明感が残っており、引き続き注視が必要な状況である。
半導体・液晶市場	・一部の装置メーカーで続いていた在庫調整はほぼ終了し、メモリを中心とした生成AI用途向け設備投資の伸長に伴い、堅調に推移することが見込まれる。	・メモリを中心とした生成AI用途向け設備投資の伸長に伴い、堅調に推移することが見込まれる。
化学市場	・製薬/化粧品、石油化学、農薬肥料などが好調。 ・高価格帯製品へのシフト等々で、市場全体として堅調に推移。 ・エネルギーコスト増大、輸入原材料等の供給不安がある。	・欧州は大手化学メーカーのAI向け投資案件があるものの、中東情勢とエネルギーコスト増加による影響で先行き不透明。 ・米国の関税政策による市場影響の懸念が継続。
表面処理装置市場	・AIサーバー、高機能パッケージ基板の需要拡大により堅調。 ・主要顧客向け案件が好調に推移。	・AI関連市場の成長を背景に、高付加価値基板向けの需要が高まり、堅調に推移する見通し。

※ 赤字はネガティブな見通し

2027年3月期 市場別売上高予想

半導体・液晶市場、表面処理装置市場、医療機器市場は好調に推移する見込み。

	2026.3期	2027.3期		
	金額(百万円)	金額(百万円)	差額(百万円)	増減率(前年同期比)
水処理	11,428	12,455	1,027	+9.0%
半導体・液晶	7,299	9,295	1,996	+27.3%
医療機器	8,841	10,496	1,655	+18.7%
化学	5,497	5,812	314	+5.7%
表面処理装置	2,974	3,585	610	+20.5%
新エネルギー	777	857	80	+10.3%
その他	10,872	11,671	799	+7.4%
合計	47,692	54,175	6,483	+13.6%

2027年3月期 製品別売上高予想

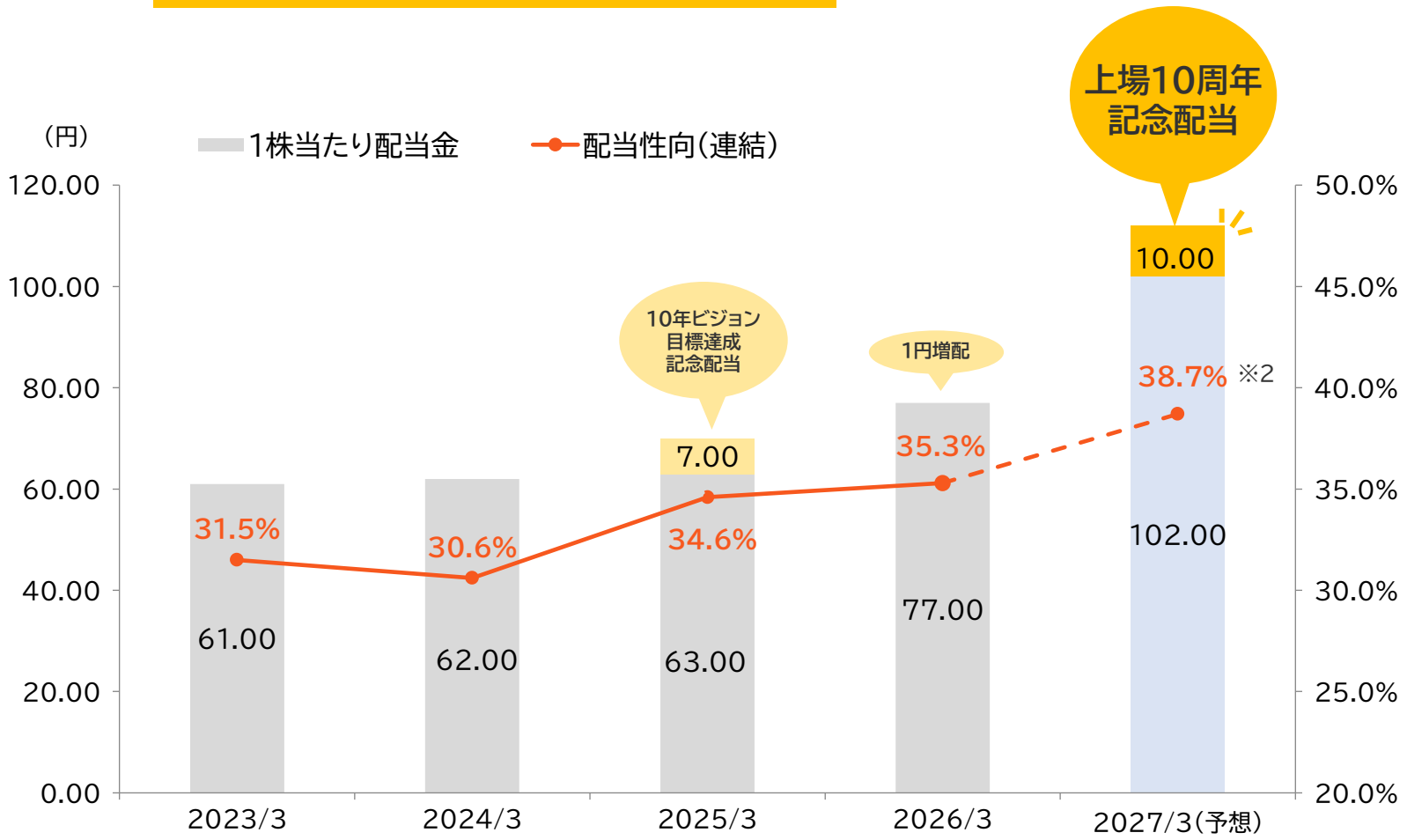
市場別売上高の想定を受け、関連する空気駆動ポンプやマグネットポンプの伸長を見込む。

	2026.3期	2027.3期		
	金額(百万円)	金額(百万円)	差額(百万円)	増減率(前年同期比)
マグネットポンプ	15,657	18,359	2,701	+17.3%
定量ポンプ	8,270	8,898	628	+7.6%
空気駆動ポンプ	5,017	6,750	1,733	+34.5%
回転容積ポンプ	3,105	3,322	217	+7.0%
エアーポンプ	2,703	3,105	402	+14.9%
システム製品	2,948	2,981	33	+1.1%
仕入商品	3,320	3,415	94	+2.9%
その他	6,669	7,341	671	+10.1%
合計	47,692	54,175	6,483	+13.6%

株主還元(配当方針)

基本方針: 配当性向35%以上・下限配当70円(2026年3月期～2028年3月期) ※1

2027年3月期: 上場10周年記念配当10円の実施(中間)



※1 なお、非経常的な特殊要因により親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動する場合は、その影響を除いて配当金額を決定することがあります。

※2 実質配当性向:35.2%(記念配当を除く)

Ⅲ. Appendix

会社概要

ケミカルポンプの
専業・総合メーカー

会社名	**株式会社イワキ**（英文名 IWAKI CO., LTD.）
代表者	代表取締役社長　藤中 茂
設立	1956年4月10日
従業員数	連結：1,146人/単体：790人 （2026年3月31日現在）
事業内容	ケミカルポンプをはじめとする 各種流体制御機器の 開発・製造・販売
資本金	10億4,469万円
本社所在地	〒101-8558 東京都千代田区神田須田町2-6-6
上場取引所	東京証券取引所 市場：東証プライム市場 銘柄名：**イワキポンプ** 証券コード：**6237**








ケミカルポンプとは

化学薬品等の **薬液移送・注入用途** に使用されるポンプ

水を扱うポンプとは異なり、ケミカルポンプは主に薬液等の移送・注入時に使用される。
薬液の中には人体に有害な硫酸等の危険な液体もある。

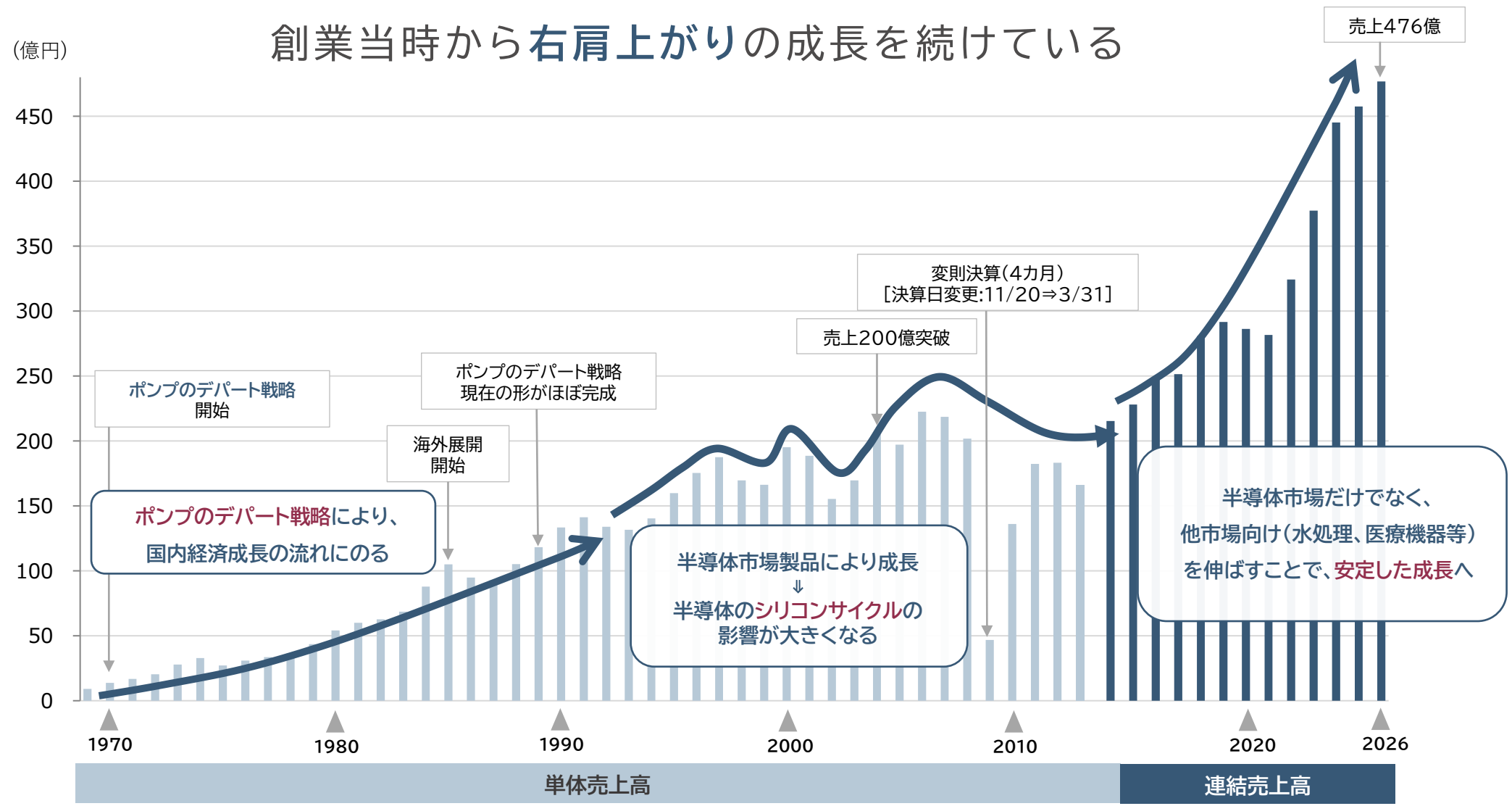
その為、ケミカルポンプには、

非常に高い **安全性** が求められる

（薬液が外部に漏れないこと）



売上推移

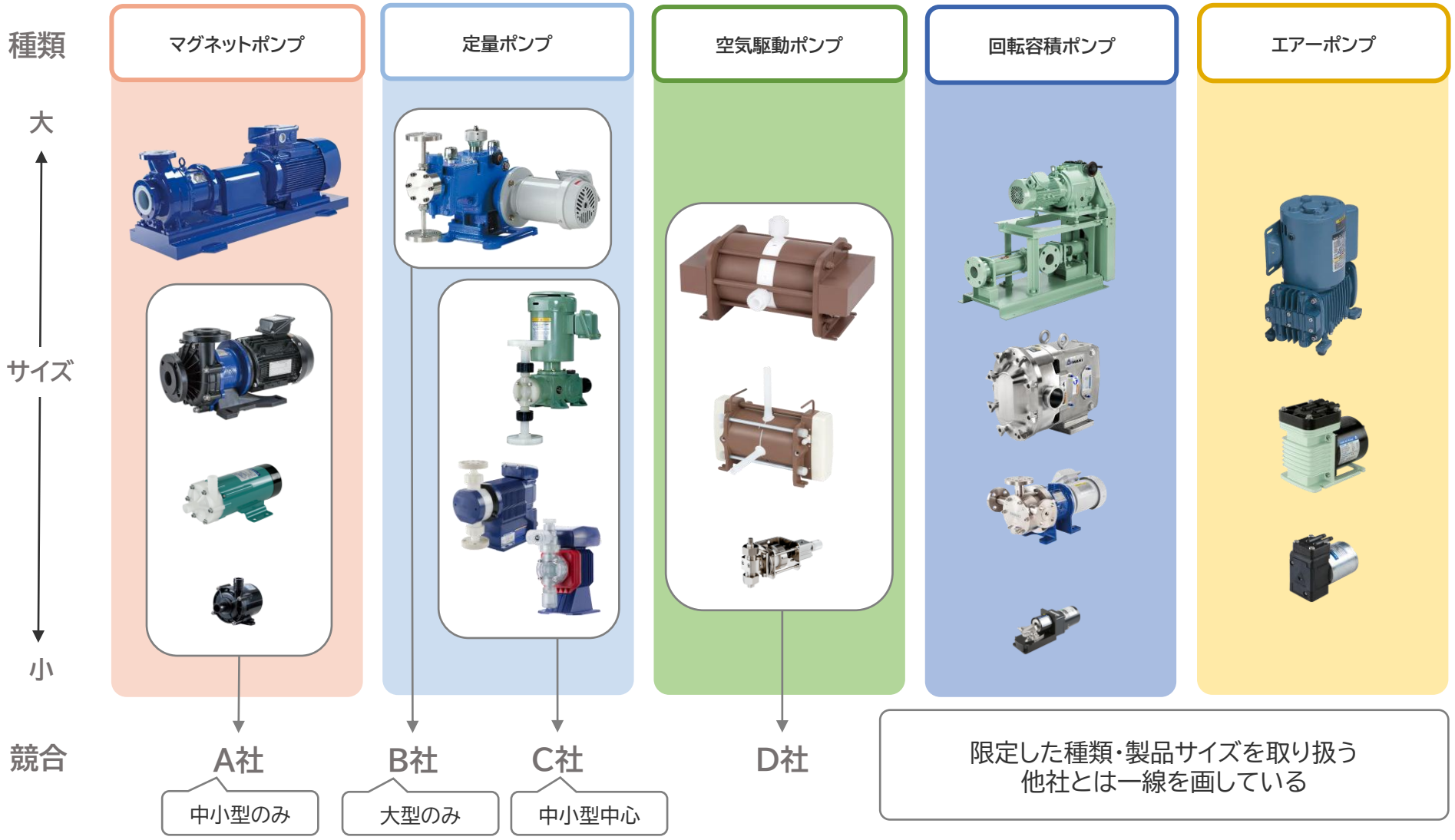

創業当時から右肩上がりの成長を続けている
(億円)
450
400
350
300
250
200
150
100
50
0
売上476億
変則決算(4カ月)
[決算日変更:11/20⇒3/31]
売上200億突破
ポンプのデパート戦略
現在の形がほぼ完成
ポンプのデパート戦略
開始
海外展開
開始
ポンプのデパート戦略により、
国内経済成長の流れにのる
半導体市場製品により成長
⇓
半導体のシリコンサイクルの
影響が大きくなる
半導体市場だけでなく、
他市場向け(水処理、医療機器等)
を伸ばすことで、安定した成長へ
1970
1980
1990
2000
2010
2020
2026
単体売上高
連結売上高

当社の強み

1. 豊富な製品ラインナップ
2. ビジネスフィールドの広さ
3. 世界規模の生産・販売・サポート体制
4. 流体制御技術によるソリューション提供

豊富な製品ラインナップ

あらゆる業界・現場の流体制御ニーズに、ワンストップで応える



幅広いビジネスフィールド

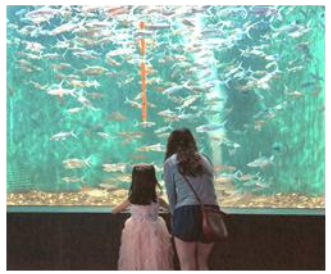
医療機器市場

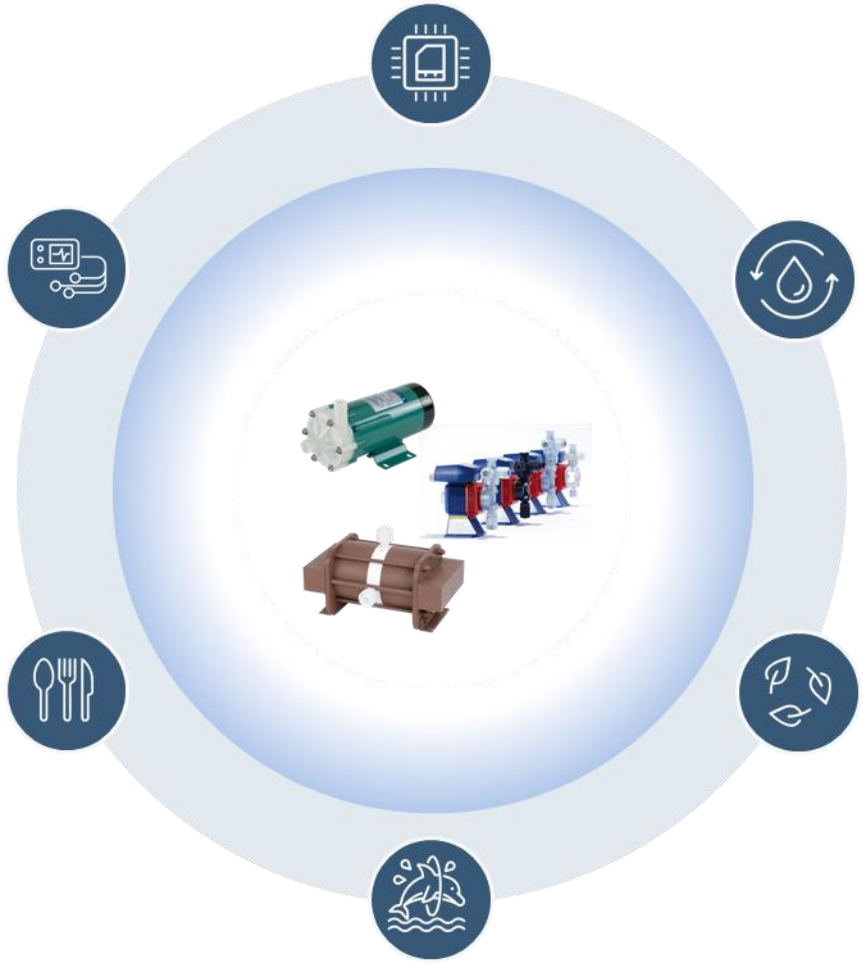


食品市場



アミューズメント市場





半導体・液晶市場



水処理市場



新エネルギー市場



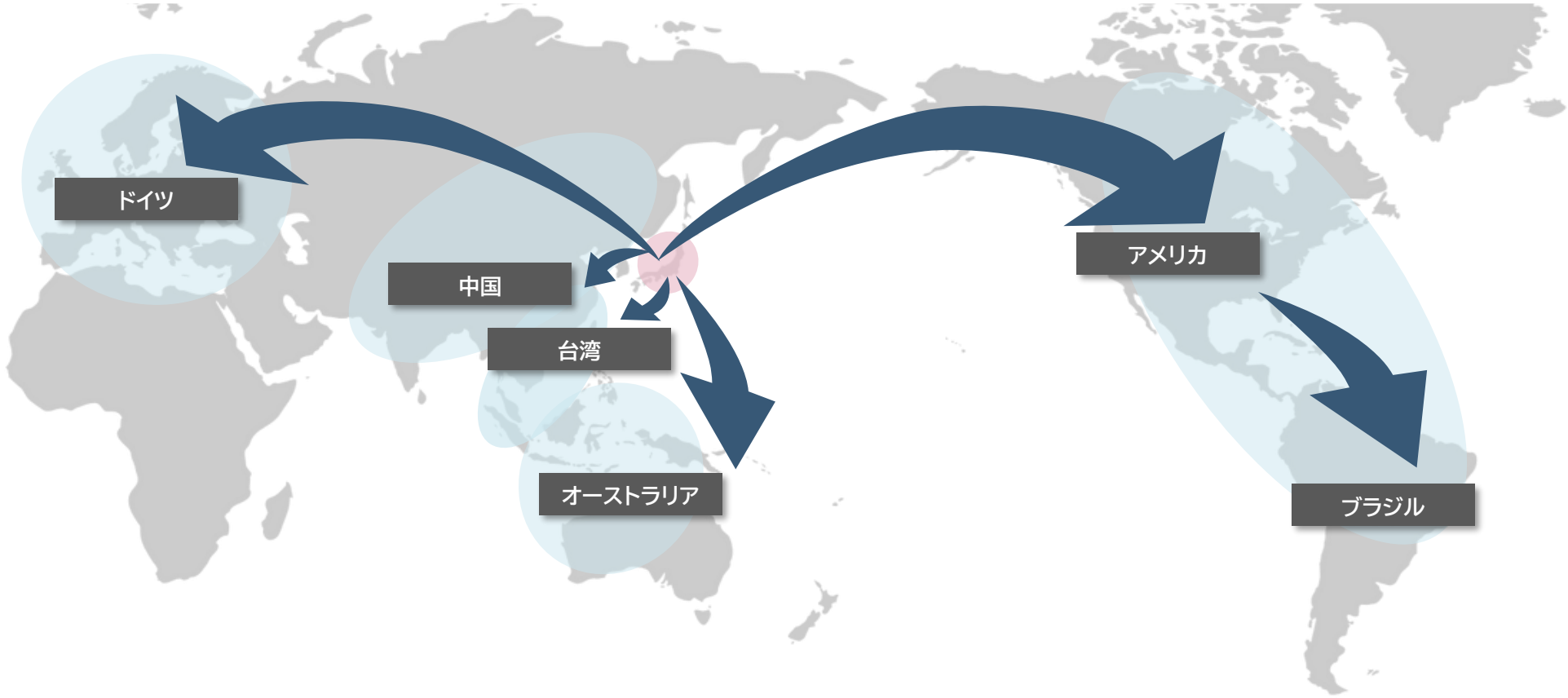
世界規模の生産体制

多品種少量生産を強みとしながら、年間約150万台の生産能力を有する

国内：多品種少量生産に対応した強固な品質保証体制

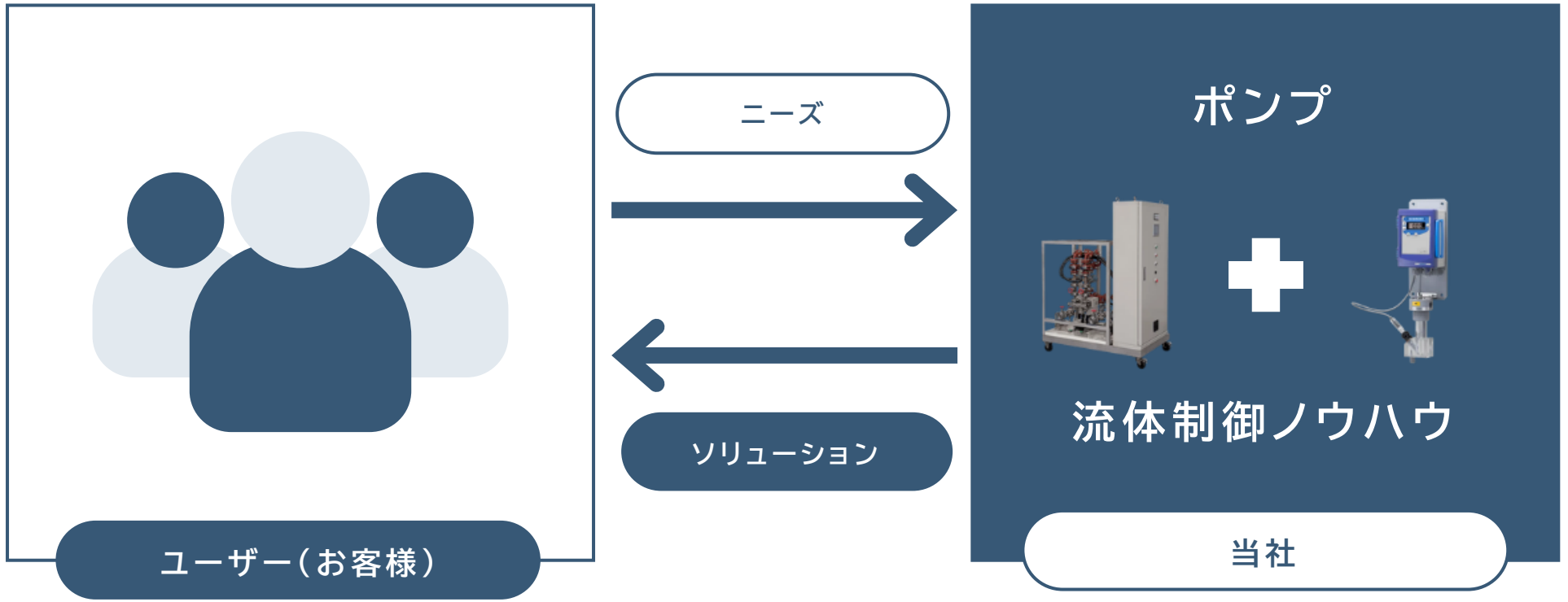
海外：6拠点でのノックダウン生産*による短納期化・在庫効率向上

（*ノックダウン生産 …製品の主要部品を輸出し、現地で組立する方式）



ソリューションの提供

お客様のニーズにあったソリューションを
ポンプと流体制御ノウハウを活用し提供



廃水処理装置を、モニタリングだけでなく緊急時の操作も遠隔で行いたい…
ヨーグルトと果肉ソースを、果肉をつぶさずに混ぜたい…
etc.



The Heart of Industry

社会の発展と人々の幸福に寄与すべく、
これからも常に最前線で産業を支えてまいります。

免責事項および将来見通しに関する注意事項

- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社イワキ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、本日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。
  これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

本内容に関するお問い合わせ先について

担当部署　：　総務本部　総務部
E-mail　：　ir@iwakipumps.jp
受付時間　：　9時～17時30分　※土曜・日曜・祝日・その他当社休業日を除く